



2026 年 9 月 25 日

各位

会 社 名	株式会社カドー		
(コード番号 628A TOKYO PRO Market、Fukuoka PRO Market、Sapporo PRO Frontier Market)			
代表者名	代表取締役社長	古賀 宣行	
問合せ先	取締役副社長	西山 朋文	
T E L	03-6455-7610		
U R L	https://cado.com/		

TOKYO PRO Market への上場目的の開示に関するお知らせ

当社は、本日 TOKYO PRO Market へ上場いたしました。

このたび、東京証券取引所の要請に基づき、当社が TOKYO PRO Market へ上場する目的及びその活用方針について、下記のとおりお知らせいたします。

1. TOKYO PRO Market 上場の目的

当社は、将来的な一般市場への上場を目指しており、TOKYO PRO Market への上場を、一般市場上場及びその後の持続的な成長に向けた重要なステップと位置付けております。

当社グループは、「技術と美で、暮らしに新たな価値と感動を届ける」を経営理念に掲げ、空気清浄機、加湿器等の空調家電及びふとん乾燥機に代表される健康・リカバリー家電の企画及び販売を行うファブレスメーカーとして、自社ブランド「cado」を展開しております。

当社グループは、確かな技術力と美しいデザインを融合させた商品開発を通じて、暮らしに新たな価値と感動を提供することを目指してまいりました。近年では、空気清浄機やオートクリーン加湿器「STEM」シリーズ等の空調関連商品に加え、ふとん乾燥機「FOEHN」シリーズに代表される睡眠・健康関連商品の展開を進めるとともに、D2C チャネル及びデジタルマーケティングの強化に取り組んでおります。今後、当社グループがさらなる成長を実現するためには、商品開発力、マーケティング力、販売チャネル、人材基盤、品質管理体制及び内部管理体制を一層強化していくことが重要であると認識しております。

TOKYO PRO Market への上場により、上場会社として求められる経営管理体制、コーポレート・ガバナンス体制、コンプライアンス体制及び適時開示体制を段階的に整備・強化するとともに、投資家、取引先、金融機関、採用候補者その他のステークホルダーの皆様からの信頼性及び知名度の向上を図ってまいります。また、資本市場との接点を持ち、投資家との対話を通じて経営の透明性を高めることで、一般市場上場に耐え得る経営基盤の構築を進め、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

2. TOKYO PRO Market の活用方針

当社は、TOKYO PRO Market を以下の目的で活用してまいります。

(1) 一般市場上場に向けた準備

当社は、将来的な一般市場への上場を目指し、TOKYO PRO Market 上場会社としての実績を積み重ねてまいります。具体的には、上場会社としての適時・適切な情報開示、投資家との対話、内部管理体制の運用実績の蓄積を通じて、一般市場上場に耐え得る経営体制の構築を進めてまいります。

（２）信用力及び知名度の向上

当社グループは、自社ブランド「cado」の価値向上と販売拡大を図るうえで、取引先、金融機関、消費者及び採用市場における信用力・知名度の向上が重要であると認識しております。TOKYO PRO Market への上場により、当社グループの事業内容、成長戦略、財務状況等を継続的に開示し、ステークホルダーの皆様からの理解と信頼の獲得に努めてまいります。

（３）成長戦略の実行力向上

当社グループは、空調家電及び健康・リカバリー家電を中心とした事業領域において、技術力、デザイン力及びマーケティング力を掛け合わせることで、独自の価値創出と持続的成長を目指しております。特に、スティック型ふとん乾燥機「FOEHN」シリーズ及びオートクリーン加湿器「STEM」シリーズを重点商品群と位置付け、市場浸透、製品ラインナップの拡充、知的財産の活用、D2C チャンネル及びリアル店舗を組み合わせた販売戦略の強化に取り組んでまいります。

また、中長期的には、空調家電、健康・リカバリー家電の領域を発展させ、生活者の心身の快適さを支えるコンディショニング領域へと事業を進化させることを目指してまいります。

（４）人材採用及び組織体制の強化

当社グループの持続的成長には、商品企画、開発、デザイン、マーケティング、品質管理、管理部門等における優秀な人材の確保及び育成が不可欠であります。TOKYO PRO Market への上場を通じて、当社グループの社会的信用力及び認知度を高めることで、採用力の強化を図るとともに、上場会社としての組織運営を通じて、役職員一人ひとりの意識向上と組織基盤の強化を進めてまいります。

（５）資本政策及び成長投資の選択肢拡大

当社グループは、今後の成長に向けて、ブランド認知向上及び販売促進のためのマーケティング投資、新商品の開発投資、事業展開及び経営安定化のための運転資金が必要であると認識しております。TOKYO PRO Market への上場により、資本市場を活用した資金調達の可能性を広げるとともに、投資家との対話を通じて、成長戦略の実現に向けた資本政策の選択肢を拡大してまいります。

３．一般市場上場に向けた方針

当社は、TOKYO PRO Market への上場後、一般市場への上場を目指し、以下の取組みを進めてまいります。

第一に、上場会社としての適時開示、IR 活動及び投資家との対話を継続的に実施し、資本市場における信頼性の向上を図ってまいります。

第二に、内部管理体制、コーポレート・ガバナンス体制、コンプライアンス体制、リスク管理体制及び情報セキュリティ体制の継続的な強化に取り組んでまいります。

第三に、空調家電及び健康・リカバリー家電を中心とした既存事業の成長に加え、コンディショニング領域への事業展開を通じて、中長期的な収益力及び企業価値の向上を目指してまいります。

なお、一般市場への上場時期及び上場予定市場につきましては、今後の事業成長、収益基盤、内部管理体制、株式市場環境等を総合的に勘案しながら検討してまいります。

４．今後の対応

当社は、TOKYO PRO Market 上場後も、上場目的の実現状況について定期的に評価を行い、必要に応じてその内容を開示してまいります。

また、当社グループの事業内容、成長戦略、経営課題、事業等のリスク、資金使途等について、投資家及びステークホルダーの皆様に適切に情報提供を行い、一般市場上場及びその後の持続的な成長に向けて、企業価値の向上に努めてまいります。

以上